

防コミの歩き方



榎野台地域防災訓練 3月4日 参加者340人

●3月4日9:30震度6地震の訓練実施!

榎野台地域防災訓練の特徴は2点あります。一つ目は近隣へ家族の安全を知らせるため、一昨年から実施している「安全確認リボン」の掲示です。二つ目は「ジュニアチーム」と一緒に防災訓練をおこなうことです。この2点はますます住民の高齢化が進む昨年、重要な訓練です。

今回は昨年の反省点である「より現実に即した訓練」を実施しました。たとえば、負傷者搬送にあたっては、物干し竹竿の使用に代わって毛布だけによる搬送法を習得しました。

●「安全確認リボン」の掲示とは!

災害が発生した際には、まず家庭での安全確認が大切です。家族の無事が確認できた際には、自治会等で決めた黄色リボンやタオルなど「安全確認リボン」を門扉やドアのノブに結び付け、近隣の皆さんに無事であることを知らせます。



安全確認リボン

今回の訓練では、742軒、約3割の皆さんが「安全確認リボン」を結び付けました。

●避難グッズと「いつき避難場所」へ!

ご近所が安全であることを確認した後、榎野台小学校の避難所が開設されるまで、近隣の公園等の「いつき避難場所」へ避難します。今年は日頃準備している避難グッズを持参して避難しました。

●実践的な「体験訓練」!

体験訓練では、「消火器訓練」「負傷者搬送訓練」「煙体験訓練」「要援護者支援訓練」「天ぷら火災消火訓練」を実施しました。

昨年から取り入れた「要援護者支援訓練」では車椅子の垂直方向の移動支援を習得しました。また、「消火器訓練」では「ジュニアチーム」が住民への消火の指導にあたりました。

半日の訓練でしたが、最後に「炊き出し訓練」の豚汁を美味しくいただきました。

●次世代を担う「ジュニアチーム」とは!

平成22年に発足した小学校3年生から中学校3年生のメンバーによる榎野台のボランティアチームです。次世代を担う子どもたちが地域に目を向け、地域活動に取り組んでいます。防災訓練、クリーン作戦、ふれあいまつりに参加協力し、地域の一員としての意識をもって積極的に活動しています。

今年2月には日頃の地域活動が認められ「西区善行青少年表彰」を受賞しました。



ジュニアチームによる指導：消火器訓練

(榎野台防災福祉コミュニティ
代表 傳田雅明)